



薬生食監発 0425 第 3 号
平成 31 年 4 月 25 日

各

都	道	府	県		
保	健	所	設	置	市
特	別	区			

 衛生主管部 (局) 長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課長
(公 印 省 略)

有毒植物による食中毒防止の徹底について

例年、特に春先から初夏にかけて、有毒植物の誤食による食中毒が多く発生しています。本年も別添のとおり、イヌサフラン、スイセン等の有毒植物の誤食による食中毒事例 (平成 31 年 4 月 22 日現在、事件数 8 件、患者数 16 名) が報告されており、患者の多くを高齢者が占めています。

つきましては、各都道府県等におかれては、食用と確実に判断できない植物については、絶対に「採らない」、「食べない」、「売らない」、「人にあげない」よう、地域広報誌等、高齢者の目にもとまりやすい各種メディアの活用や、高齢者施設等の関係団体を通じ、継続的に注意喚起を行うようお願いいたします。また、有毒植物の苗が、野菜の苗として販売されていた事例も複数報告されていることから、必要に応じ、農林部局等関係部局とも連携し、事業者に対する監視指導を行うようお願いいたします。

参考) 厚生労働省ホームページ

- 有毒植物による食中毒に注意しましょう
(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/yuudoku/index.html)
- 自然毒のリスクプロファイル
(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html)



別添：平成31年3月、4月における有毒植物による食中毒事例
(平成31年4月22日現在)

【事例1】

発生年月日	平成31年3月11日
発生場所	千葉県、家庭
原因植物	ヒガンバナ
概要	自宅の庭で自生していたヒガンバナをニラと誤って採取して喫食し、食中毒様症状を呈した。
患者	2名(50代女性、70代女性)
主な症状	吐き気、嘔吐

【事例2】

発生年月日	平成31年3月29日
発生場所	三重県、家庭
原因植物	スイセン
概要	家庭菜園でニラと混在して生えていたスイセンをニラと誤って採取して喫食し、食中毒様症状を呈した。
患者	3名(20代男性、60代男性、70代以上男性)
主な症状	嘔吐

【事例3】

発生年月日	平成31年4月2日
発生場所	秋田市、家庭
原因植物	スイセン
概要	スーパーでニラ苗と表示されたスイセンを購入して喫食し、食中毒様症状を呈した。
患者	1名(60代女性)
主な症状	吐き気、嘔吐

【事例4】

発生年月日	平成31年4月11日
発生場所	茨城県、家庭
原因植物	バイケイソウ
概要	知人から野草を譲り受け、バイケイソウをオオバキボウシと誤認して喫食し、食中毒様症状を呈した。
患者	3名(10代男性、60代女性、70代男性)
主な症状	嘔吐、吐き気、めまい

【事例5】

発生年月日	平成31年4月13日
発生場所	山形県、家庭
原因植物	スイセン
概要	自宅の畑で自生していたスイセンをニラと誤って採取して喫食し、食中毒様症状を呈した。
患者	2名（30代男性、60代男性）
主な症状	嘔吐、腹痛、下痢

【事例6】

発生年月日	平成31年4月14日
発生場所	福井市、家庭
原因植物	スイセン
概要	自宅付近に自生していたスイセンを喫食し、食中毒様症状を呈した。
患者	2名（10代女性、30代女性）
主な症状	吐き気、嘔吐

【事例7】

発生年月日	平成31年4月17日
発生場所	群馬県、家庭
原因植物	イヌサフラン
概要	知人宅に自生していた野草を譲り受け、同野草をギョウジャニンニクと誤って喫食し、食中毒様症状を呈した。
患者	2名（70代男性、70代女性）
主な症状	嘔吐、下痢、呼吸困難

【事例8】

発生年月日	平成31年4月19日
発生場所	山形県、家庭
原因植物	スイセン
概要	自宅の庭で自生していたスイセンをニラと誤って採取して喫食し、食中毒様症状を呈した。
患者	1名（60代以上女性）
主な症状	寒気、吐き気、嘔吐